

浅香山中学校だより



峠越え

ホームページアドレス

<http://www.sakai.ed.jp/asakayama-j/>

第10号(新春1月号)

令和7年12月24日

堺市立浅香山中学校

校長 中谷 浩治



携帯サイト

自分自身を冷静に見つめ自分を生かしましょ う ～「やるべきこと」に気づくことから全てが始まる～

慌ただしく過ごした2025年もあと一週間で大晦日を迎えます。これから過ごす1年間を想像するといつも長く感じるのですが、いざ終わりを迎えると必ずと言ってよいほど早かったなど感じるものです。

1、2年生は進級、3年生は卒業を控え、この1年間の自分の成長をどのようにとらえているでしょうか。1年生はまもなく先輩という立場になり、言葉や行動に責任が問われるようになります。自分自身が後輩たちから慕われるような先輩、尊敬されるような先輩になるためには、これまで先輩たちが示してくれた言動には数多くのヒントがあります。先輩たちを超えるよう頑張りましょう。

2年生はもうそろそろ「受験生」を意識し始めている頃でしょうか。例えば部活動では現在中心として頑張っているはずですが、3年生進級半年後には引退の時期を迎えます。その時に、自分自身を素早く受験モードに切り替えられるよう、計画的に準備を進める必要があります。油断は禁物です。

そして、3年生は初めて「卒業後の居場所」を模索しました。その間、頑張りたいことやできそうなことを「自分の現実」と天秤にかけ、可能性を広げるため、これまで以上に頑張ったことと思います。ただ、居場所にたどり着くことが目的ではなく、そこで頑張り続けることが最も大切であるということを忘れてはいけません。

さて、明日からいよいよ冬休みが始まります。年末年始は世の中がお正月ムードになり、落ち着いて何かに取り組むことは難しいかもしれません。しかし、目標や心に決めたことがあれば、そう簡単にあきらめられません。テスト前日に過ごす1時間も今日過ごす1時間も、長さには変わりはありません。余裕のあるときに頑張るほうが、いろんなことに気づくはずです。「自分の課題」を意識できいてもつい後回しにしがちな人は、きっと直前に慌てるになります。しかし、反省を忘れない人は、計画的に進められる人は、たとえわずかでも結果につなげることができるものです。

たとえ小さな成功体験であっても、それは必ず自分に自信と元気をもたらしてくれます。来年の目標は他人との比較ではなく、今年の自分を超えることにしてみませんか。後退することなく、前進あるのみです。皆さんのお力をお貸しします。

【1月行事予定】 January

日	曜	授業・行事	昼食	日	曜	授業・行事	昼食
1	木	元日 冬季休業		16	金	金1~6 芸術鑑賞 各種委員会	○
2	金	休業日		17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月	月1~5 3年テスト一週間前	○
5	月	諸費振替日	※日直	20	火	火1~5 P T A実行委	○
6	火		※日直	21	水	水1~6	○
7	水		※日直	22	木	木1~6	○
8	木	始業式・学活		23	金	金1~6	○
9	金	月1~4 (午前中授業)		24	土		
10	土			25	日	小学生授業部活動体験	
11	日			26	月	月1~4 3年卒業テスト	
12	月	成人の日 1年スキー保護者説明会		27	火	火1~5、月5	1・20
13	火	火1~5、水3	○	28	水	水1~6	1・20
14	水	3年学テ・1、2年チャレテ	○	29	木	木1~6 P T A花の定植	○
15	木	月5、木2~6 諸費再振替日	○	30	金	金1~6	○
26 (月) 1・2年部活動生徒 昼食準備				31	土		



『学校をよりよくするためのアンケート』にご協力ください

今年度も生徒や保護者の皆様を対象に「学校をよりよくするためのアンケート」を実施します。

この目的は、生徒にとって学校が学びの場としてふさわしく、過ごしやすい環境となっているのかを知ると同時に、学校がどのように認識されているのかを知り、よりよい学校作りに役立てるために実施するものです。

本校では昨年に引き続き授業改善による学力向上や I C T 機器の活用等を目標に掲げ、日々教育活動に取り組んでいます。しかしそれらの課題は各ご家庭との協力関係なしに達成できるものではありません。

また、生徒自身が学力の定着まで繰り返し読んだり、書いたりする必要があり、授業中

はわかった気持ちになったとしても、帰宅後に「思い返す時間（復習）」を取らなければなかなか学力を定着させることはできません。

本校に限らず、多くの子どもたちに必要なのは、帰宅後に「今日学んだことを思い返す時間を取りること」です。

今回のアンケートは学力だけでなく、社会で通用する人間力を身につける上で、自分自身を振り返る大切な資料になります。

浅香山中学校の教育活動をこれまで以上の充実した内容にするため、アンケートへのご協力をお願いいたします。なお、生徒は学活時に実施し、保護者の皆様には紙媒体にて配布させていただきます。



「私からの人権メッセージ④」～人権学習より～

◎「相互理解について」 3年 女子

私は、人権のことをたくさん学んで、わたしがもし目や耳、手足などが自由に使えない障がい者だったら、周りの人たちに助けを求めてなくなると思います。でも、悪意がなくても勝手に気持ちを決めつけられたり、特別扱いされても、もやもやしてしまうと思います。なので、もし困っている障がい者の方を見つけたら、勝手に気持ちを理解したふりをせず、それぞれの人に合った助け方をしたいなと思いました。そして、どうすればいいかわからないときは障がい者の方と話して、一緒に一番の解決策を見つけることができたらなと思います。

私たちはみんながそれぞれがう人間なので、気持ちを完全に理解することはむずかしいですが、わからないことをそのままわからないままにせず、お互いに理解し合おうと思う気持ちが一番大切なんじゃないかなと思いました。

◎「先天性眼瞼下垂（せんてんせいがんけんかすい）」 2年 女子

私の弟は先天性眼瞼下垂だ。生まれてすぐそれが分かった時、これから弟は成長して楽しく生きていくのだろうか。いじめられたりしないか不安になった。

今は手術で閉じていた瞼（まぶた）を持ち上げているが、それでも少しづつ視力が下がってきてている。けど、それでも楽しく生きている。最初から不安や心配はいらなかったかもしれない。弟がどんな状況であれ楽しいとか助けてほしいなど感情をあらわにしてくれるからそう思えた。弟に似たような人がいても、真っ先に心配するよりもその人のことを知ったりその人にとって自分はどんな存在であるかをどれだけかんがえられるかが一番大切なんじゃないかと思った。なぜなら、その人にとって自分はどんな存在かを理解することで、その時自分に何をすればいいか見えてくるし、自分の意見でその人の意見をふさぎ込んではいけないからだ。そこで、ふさぎ込んでしまったら、その人の楽しみややりたいこともできなくなってしまうかもしれない。その時点でその人の人権を奪ってしまうことになる。

そんなことがこれから減ったりなくなっていくように、障害がある人を見つけたら、まず始めにその人のことを知ったり、その人にとって自分がどのような存在かを考えて行動しよう。

◎「人権の大切さ」 1年 女子

私は障害をかかえている方と接する機会が多い方だと思います。私の母は、放課後等ディサービスで働いているので、私は小学3年生から、毎週土曜日に仕事に同行していました。今は部活動などで行ける日が少なくなってしましましたが、長い休みの日は同行しています。

初めて話したときは少し驚き、緊張してしまいました。けど、毎週障害をかかえている方とコミュニケーションをとることで、自分も相手も心を開いていき、気持ちがわかつていけた気がします。一人一人みんなの個性や見た目、性格が違い、話すのがとても楽しかったです。

ある土曜日、いつものように障害をかかえている方と接していると、一人の方がいきなり大きな声を出して怒ったり、笑ったりしているのを見て、障害をかかえている人とかかえていない人の違いはなく、同じ人間だということに気づきました。人は見た目や行動で性格を決めつけがちだけど、それをして人を傷つけてしまうことも学びました。

障害をかかえている人もかかえていないとの違いではなく、みんなに人権があり、それは当たり前でなくちゃいけないと思います。人権が一人一人に当たり前にあるものでいてほしいです。

11月～12月 部活動等の主な活動記録と予定

部活・教科名	大会名・種目名	入賞者・結果など
国語科	読書感想文コンクール	入選 1年女子 入選 2年女子 入選 3年女子
美術科	幼小中美術展	特選 1年女子 「登」 特選 2年女子 「走るのが好き」 特選 3年女子 「希望の光」
保健環境委員会	健康啓発標語コンクール	入選 1年男子 入選 2年女子 入選 3年女子
吹奏楽部	健全育成 ふれあいフェスタ	出演 (12/6)
	クリスマスコンサート	かーさ・あもーれ (浅香山病院) 出演 ※12/24
放送部	健全育成 ふれあいフェスタ	司会進行 (12/6)
剣道部 (拠点校)	堺市新人大会 女子団体の部	優 勝 1年女子 3名
	同 男子団体の部	優 勝 2年男子 1名 (Aチーム)
	同 女子個人の部	準優勝 1年女子

学校生活のキーワードは「和(わ)」「礼(れい)」「真(しん)」

「和」：仲良く、協力し合う気持ち。争いをやめること。

「礼」：敬うこと。感謝の気持ちを表すことば。礼儀。

「真」：いつわりでないこと。まじめなこと。真剣なこと。正しいこと。